

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201182
事業所名	グループホーム 森の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームは静かな住宅街にあるが、地域行事が活発ではない。その上学校や保育園もなく、行事を通じての交流が難しい状況にある。日々の散歩の他に、一宮の七夕を雨のため車中から見学したり、はだか祭の発式を見に出かけることが毎年恒例となっている。毎月「読み聞かせ」、2か月毎に「オカリナ・ケーナ」のボランティアの訪問があり、職場体験の依頼があれば受け入れは可能である。今後は、ホーム内で開催した「認知症高齢者の基礎理解と対応」といった勉強会を地域でも開催したいと考えている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	町内会長や民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得ながら、ホームでの暮らしぶりを報告している。地域行事や防犯カメラ設置の様子等の情報を得たり、「安心・安全の町づくり」のために道路の凹凸の話の中で、車椅子通行が困難な場所を伝えて協力関係の構築を図っている。会議にボランティアの演奏やマッサージ師の話を盛り込んで日常の様子や取組みを理解してもらう場として有効に活用されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者へは、ホームでの様子や状況を電話、手紙やFAXで報告し、認定更新手続き等で直接訪問する機会も大切にしている。運営推進会議の参加はないが、報告書を提出し、何か有れば相談できる関係が構築されている。地域包括支援センターとの連携も空室状況や運営推進会議の参加で得られている。市主催の研修会には積極的に参加し、ホーム内で勉強会へと繋げている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	体調等の変化があれば電話連絡し、家族の来訪の際には意見や要望を聞いたり、介護プランの説明を行い、アンケートの結果からも良好な関係がうかがえる。出された意見や要望は、職員間で共有し日々の介護に反映し、サービスの向上に向け取り組んでいる。2か月毎に職員が日頃の様子を手紙に書き、写真とともに送付している。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				